

【インシデントレポート報告の情報収集と改善策検討】

提供する医療の安全と質の向上をめざし、院内で発生したインシデント報告の統計評価、分析、改善策を検討しています。令和6年度は、前年度より1.4倍増加し1179件です。

報告内容の概要別割合(図1)では、転倒・転落と療養上の世話の割合が増加しました。

入院患者の転倒・転落(図2)では、治療を必要とする転倒転落発生率ともに増加しており、高齢患者の認知症・せん妄状態に関連して、転倒・転落防止対策の継続が必要と考えます。患者影響度別割合(図3)では、要観察と簡単な検査が必要なレベル2、簡単な治療・処置を要したレベル3aが増加していることから、今後もより安全な医療の提供に向けた取り組みを行っていきます。

また患者の皆様には、お名前を名乗って頂くこと、院内でのスリッパ禁止にご協力をお願いいたします。

